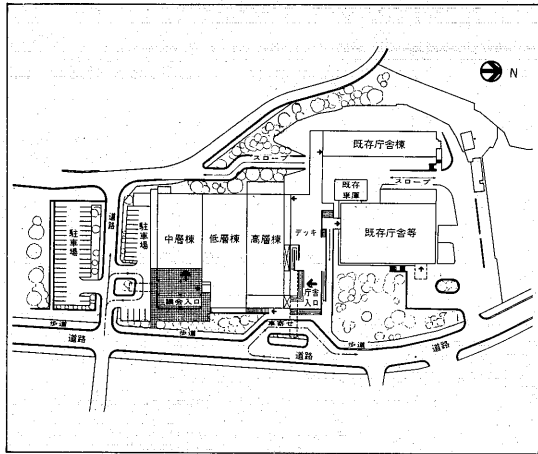


市の人口	
(昭和57年8月1日現在)	
世帯数	49,628世帯(前月比72世帯増)
人口	157,028人(前月比382人増)
男	78,443人
女	78,585人

市庁舎の増築工事 今秋からスタート



まず議会など4階建て

市では、このほど現市役所南隣の荒道第二小学校跡地に建設を予定している市庁舎増築の基本計画をまとめ、今秋から議事堂を中心とした第一期工事に着手することになりました。

市庁舎増築は、急激な行政需要から組織の分散配置を余儀なくされている現状に對処するため、基本計画の第一期完成時点で、すべてのレフト庁舎を完成させることとしています。

全般的な計画としては、現市役所から教育庁舎を公共用地の場として併置し、この間の約二万七千八百五十平方メートルの敷地に、昭和七十五年を想定される約二十万人、職員数二千四百人に対

身障者も利用できるエレベーターを初設置

建物は、北側が高層(地上四階)の三階を建設する。地上階、地下二階、低層地としており、このうち地上階、地下二階、中層地、棟第一期分となつていきます。



お母さんも熱心にメモ

夏休み親子見学会

8月4日(12日)、夏休み親子見学会を開催。この間、二見学、六十三人が参加。城陽衛生管理組合の清掃工場、宇治市水道部の宇治浄水場、京研附雲の炭山工場を見学。工場では給付を楽しました。日ごろこうした施設を見る機会が少ないお母さんたちは、小生に負けず熱心メモ。参加者からは、来年ぜひこのように見学会をしてほしいと好評でした。写真は、炭山工場でお血や湯のみに思い思いの絵を付けて参加者

市準備推進本部を設置

昭和63年京都国体 に向け

市では、このほど今年後の京都国体に向け、本格的に準備を進めようとして、万全体制を確保するために、市庁舎増築推進本部(正式名称)第43回国民体育大会宇治市準備推進本部を設置した。

京都国体では、府山城総合運動公園(大隅が丘)の關係で、京都市に次いで宇治市開催が最も多く持ち込まれるものと見られるため、選手団の受け入れ、各競技の開催場を確保し、事業の調整や調査などを行うための幹事会や専門委員会を設けています。

推進本部の基本方針は、このたびに決定された推進本部の「市民の体育・スポーツの振興を基本政策の一つとして積極的に取り組むこと」を軸として、京都市に次いで宇治市開催が最も多く持ち込まれるものと見られるため、選手団の受け入れ、各競技の開催場を確保し、事業の調整や調査などを行うための幹事会や専門委員会を設けています。



京都国体を市民の手で成功させよう
(3月14日、山城総合運動公園)

宇治市障害者福祉都市推進協が発足

中では、去る八月十日宇治市障害者福祉都市推進協議会を設置、第一回委員会、会長に中川淑久さん(宇治商



国際障害者年 シンボルマーク

発足した協会は、障害者福祉関係や行政の代表を委員三十人から構成、任期は、指定期間の五十九年三月末日までとなっております。十日、池本市長から委員の委嘱状が交付され、市側から障害者福祉都市推進事業を公明実施計画の説明を行われました。委員のみなさんは次の通り。(敬称略)

藤井一男、櫻川三、藤井博、藤井昭一、組原利夫、浅井隆造、安岡博文、大北幸平、杉本一義、井岡敏、堤隆平、川原一行、松本登、中川淑久、大沢隆、林徳二、本重久、杉本千代子、橋本隆夫、山本昭吉、野村徹志、原田久、堀井海樹、村上好弘、高田寛安、谷口圭一、小川巧、吉川博康、伊藤昭昭、土田新一

